

待機児童対策と保護者負担の軽減について

公共施設の空きスペースなどを活用し、通年での待機児童解消を

【かじや 質問】 保育需要が増加する中で、通年の待機児童ゼロを目指すのであれば、年度途中での解消に向けた取り組みを進める必要がありますが、今後どのような手法で待機児童を解消するのか、また、市長の公約であった市独自の第2子以降の保育料無償化についての進捗状況をお聞きます。

【子ども青少年部長 答弁】 子育て家庭の様々なニーズに合わせて、子どもが安心して教育・保育を受けられるよう地域ごと、年齢ごとの保育ニーズを丁寧に見込み、これまでの手法に捉われず、民営化の推進などによる財源確保を図りながら入所枠の確保に努めていきます。第2子以降分の保育料無償化につきましては、子育て支援を進める観点からは有用な施策であると考えており、実施のために必要な財源の確保について、引き続き検討していきます。

【かじや 意見】 将来のまちづくりの担い手となる子どもたちへの投資は重要であり、どのような家庭環境にあっても、教育や子育ての機会に格差が出ることのないよう、子育て支援の質の向上と保護者負担の軽減を実現させていくのが行政の大きな役割のひとつであると考えます。特に待機児童の問題は、解決しなければならない喫緊の課題です。学校など公共施設の空きスペースの活用や、私立幼稚園から認定こども園への移行促進など、あらゆる手段を尽くして通年での待機児童解消を図っていくよう提言しました。

また、第2子以降分の保育料無償化については、必要な財源をしっかりと確保して、実現に向けて取り組むよう要望し、9月の市長の所信表明において早期に実現するとの明言がありました。

6月定例月議会の一般質問では以下の項目についても質問・提言を行いました

◆持続的発展が可能なまちづくりについて

- ①人口減少社会に対する認識と課題について
- ②SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて

◆「エフエムひらかた」のあり方について

◆福祉サービス利用援助事業補助事業と成年後見制度について



※各質問内容の詳細につきましては、かじや知宏のウェブサイトに掲載しています

かじや知宏 プロフィール

<経歴>昭和43年9月12日、枚方市に生まれる。阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会科学科社会福祉学専攻を卒業。(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て、かじや行政書士事務所開業。大阪府行政書士会綱紀委員、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。<現在>枚方市議会議員(2期目)、かじや行政書士事務所代表、日本維新の会大阪府枚方市支部政調会長など。<趣味>読書、卓球、スポーツ観戦、神社仏閣巡り、観劇。

政策や活動の詳細はウェブサイトやSNSをご覧ください

かじや知宏

で 検索



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro